

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

新韓銀行（証券コード：－）

【変更】

外貨建長期発行体格付	AA－ → AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA－ → AA

■格付事由

- (1) 韓国の大手総合金融グループである新韓ファイナンシャル・グループ（SFG）の中核商業銀行で韓国 4 大銀行の一つ。SFG の事業は連結純利益の 6～7 割を占める当行のほかカード、証券、保険、資産運用など多岐にわたる。当行は韓国国内における堅固な事業基盤、厳格なリスク管理を背景に利益の創出力を一段と高めている。資産の質は良好であり、資本充実度は安定した利益を背景に改善している。また、JCR は、韓国の銀行の外貨建格付の上限となる韓国ソブリンの外貨建格付を 22 年 9 月 30 日付で 1 ノッチ格上げし「AA」と公表した。以上を踏まえ JCR は、当行の格付けを 1 ノッチ格上げし、見通しを安定的とした。
- (2) 堅実な事業運営により経済のサイクルを通して着実に利益を上げており、経営の安定度は大手銀行の中でも高い。国内シェアは貸出金が 13%、預金が 15%（21 年 12 月末）。個人向け、法人向けの双方で充実した取引基盤を背景に、安定的に預貸残高を積み上げ金利収入は増加している。経費の増加は抑制的で、OHR を 40% 台半ばにまで引き下げている。近年は採算性と健全性を重視した取り組みを進め、融資では個人向けの無担保ローンや SOHO・中小企業向けに注力している。SFG として韓国最大のカード会社である新韓カードを擁し、非銀行業務でも高いプレゼンスを有する。SFG でも、純金利収入を中心に収益は増加基調で推移している。
- (3) 従前から景気敏感セクターへの貸出を抑制するなど与信運営を保守的に行っており、国際金融危機後は造船・海運・建設業向けの貸出や不動産プロジェクトファイナンスの圧縮に取り組んできた。近年拡大している住宅関連の貸出については、小口分散がきいている上、保証等による保全が相応になされている。厳格なリスク管理により、貸出資産の質は近年、改善傾向で推移してきた。22 年 6 月末の不良債権比率は 0.26% と歴史的低水準で推移している。与信費用比率は、21/12 期に 10bp 台と抑制された。今後の景気低迷に備え、22/12 期上半期に約 3,000 億ウォン（総与信比約 0.1%）引き当てを計上している。今後貸し倒れが増加しても追加の与信費用は収益により十分吸収可能な範囲内に収まると JCR ではみている。
- (4) 22 年 6 月末のグループ連結普通株式等 Tier1 比率は 12.82%（当行 14.29%）と AA レンジとして相応の水準にある。中期的にも利益の着実な蓄積により良好な資本水準が維持されるとみている。ウォン建預貸率は 100% をやや下回っており、バーゼル 3 基準の流動性カバレッジ比率や安定調達比率も良好な水準に保たれている。また、外貨調達における市場性調達手段への依存度は低下している。

（担当）杉浦 輝一・岩崎 晋也

■ 格付対象

発行体：新韓銀行（Shinhan Bank）

【変更】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第8回円貨社債（2017）	83億円	2017年11月2日	2022年11月2日	0.52%	AA

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年10月4日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：杉浦 輝一
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「銀行等」（2021年10月1日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 新韓銀行（Shinhan Bank）
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル